

a 学校教育目標	夢と高い志を抱き、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる生徒の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命)社会のために役立とうとする志を抱く生徒の育成 【ビジョン】(自校の将来像)社会に開かれた教育課程の実現 (生徒が学びたいと思う学校、保護者が通わせたいと思う学校、教職員が働きたい、学びたいと思う学校)
----------	----------------------------------	----------------------	--

評価計画				自己評価					改善方針	学校関係者評価				
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10月	1月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方針	l 評価			m コメント
					h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ	
確かな学力の育成	「学びの変革」の展開 (1)言語活動の充実 (2)学び合いの深化	学習の文脈の拡大と言語活動カリキュラムの開発	①モジュール学習での教科指導と家庭学習の一体化 ②言語活動カリキュラムによる論理力の向上	・5教科前期(全国・NRT) ・5教科後期(実力テ)	107%	93.9%	87.7%	B	NRTにおいて、3学年とも目標値107%を上回ることができなかった。1年生は社会、2年生は数学、3年生は英語が全国比を15ポイント以上下回る結果であった。全国学力・学習状況調査では3教科全国比に届かず、達成値92%、達成度86%であった。モジュール学習において、各教科予習・授業・復習の自主ノートを進めることで家庭学習の充実と一体化を図ってきたが、生徒の学習アンケート結果では、家庭学習時間の増加がほとんど見られなかった。このことから基礎・基本的な学力が定着しづらいこと、家庭学習が習慣化していないことに課題があると捉えている。	NRT、全国学力・学習状況調査結果を受けて、全教職員で研修を行った。以後、小テストや単元テストで課題の見られた問題・領域について類似問題への取り組みを実施している。また40%未満の生徒には補習を設けて直し直しを行っている。今後もテスト前補習、テスト後直し直し学習を継続して進めていき、学力の定着を図る。さらに、家庭学習の内容や方法について何を、どのように、どこまでやるのか等、教科ごとに具体的に示し、家庭学習の定着を図る。また後期は読解力向上と言語活動の充実に向けて、新聞記事を読み意見文を書く学習や教科でレポートを作成する学習に取り組む。「学び合い」のアンケートから、肯定的評価が90%であったが、単なる「学び合い」で終わらないように、「学び合い」の中で繰り返し思考力・判断力・表現力を育成できるよう、授業改善を推進していくとともに、研修を深めていく。				
			①思考力・判断力・表現力を育成する授業改善の推進	・学び合いアンケートの肯定評価率	100%	89.5%	89.5%	B	学び合いアンケートでは、「『学び合い』の授業はわかりやすい」は90%、「『学び合い』の学習で『わかった』と感じる」は89%という肯定的評価であった。「クラスのみんながわかることは大切です」というアンケートには96%を超える肯定的評価ではあるが、「わからないときにはわからない」と伝えられるが、「77%という結果であった。『学び合い』に関しては、肯定的評価が高い結果ではあるが、各学力検査をみると、思考力・判断力・表現力の育成には至っていない。					
豊かな心の育成	「積極的な生徒指導」の推進 (1)関係性の調和 (2)レジリエンスの向上	特別支援・教育相談の充実	①QUを活用した学級集団の相互の関係性の向上	・生徒意識調査(QU)の肯定評価	80%	69%	85.0%	B	令和4年度全国学力・学習状況調査(生徒質問紙)のアンケートでは、学校に行くことや、友達と協力することを肯定的にとらえている生徒がほぼ100%となっており、生徒間の関係性は好ましい状況と考えられる。反面、「1回目のQ-U結果からは、「かかわり」に関するスキルや学習支援レベルが全国と比較すると下回る結果を示している。	学習発表会へ向けての取り組みや、学び合い等を通して、教えたり教えられたりすることの体験を積み、喜びを感じることができるようになる。困難や課題を克服する経験を通して、達成感が得られるよう取り組む。				
			①特別な支援等を必要とする生徒の関係機関連携の充実	・関係機関連携対前年度比100	100%	86%	86.0%	B	特別な支援等を必要とする生徒7人のうち6人が関係機関(専門機関)と連携している。関係機関と連携のない1人の生徒は、本校の部活動や中体連の試合に参加したり、リージョンプラザへバレーボールを習いに行ったりと、人や社会との関わりを持っている。引き続き、学級担任を中心に、生徒や保護者との連携を継続し充実させる。					
信頼される学校	「開かれた学校づくり」 (1)保護者・地域連携	公開性の向上(タブレット活用)	①オープンスクール実施	・年間1回	100%	0	0%	D	10月29日(土)の学習発表会をオープンスクールと兼ねていたが、コロナ禍により今回は見送ることとなった。	・オープンスクールを行うことができないので、DVDにして小学校で視聴してもらうよう依頼していく。また、2月の入学説明会にオープンスクールを計画していく。				
			①道徳研究授業等の合同研修会の実施による計画的な交流。	・合同研修会・合同授業研究を3回以上実施	100%	4回	133%	A	1学期に小中合同授業研、9月に自主公開研究会、小学校道徳授業研修会、10月本校にて道徳教育研修会で研修をすることができた。	・今後お互いの研究授業、道徳研修に参加し、特に道徳授業の推進を図っていく。				

[j:自己評価 評価]

A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100
C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60

[l:学校関係者評価 評価]

イ:自己評価は適正である。ロ:自己評価は適正でない。
ハ:分からない。